

バイオガス発電に取り組みます

■京都エコエネルギープロジェクト・新エネルギーなど地域集中実証研究【衛生費】(継続) 215万円
(担当:生活環境部 環境推進課)

太陽光発電・風力発電・バイオガス発電を組み合わせ、地域分散型の電力供給システムの実証研究を、京都エコエネルギープロジェクト(京都府と市、5つの企業でつくるグループ)が、NEDOからの委託を受けて平成15年度から取り組んでいます。

太陽光発電・風力発電・バイオガス発電の各施設が今年の秋ごろに完成して、本格的な実証研究がスタートする予定で、市では事業の紹介や環境学習をすすめていきます。

- 主な経費

事業紹介や環境学習用のビデオ・パンフレット作成費	140万円
実証研究スタート記念式典費用	30万円
登録研究員(職員)旅費	45万円
NEDOからの委託金	45万円
市の負担額	170万円

地域分散型電力供給システム

家庭や施設の電力を電力会社からだけでなく、地域に分散して設置される自然エネルギー(太陽光、風力、バイオガス)などを利用した小規模の発電施設により補完する電力供給のしくみ。

NEDO
(独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)
日本の産業技術・エネルギー・環境技術など民間企業だけでは出来ない研究開発を産業界、大学、公的研究機関と一緒に公的資金を活用してすすめる団体です。

8 教育・文化財

国際的な視野を育てます

■国際交流事業【総務費】(新規) 409万円
(担当:企画政策部 企画推進課)

平成17年6月から約10か月間、中国の自治体職員(1人)が市役所に来ます。

主に、日本の地方自治体の仕事について研修したり、中国との交流に関する仕事をします。

そのほか、市民のみなさんを対象とした、中国語教室や文化交流会などを計画していますので、ぜひご参加ください。

自治体職員協力交流事業とは

海外の地方自治体等の職員を日本の自治体に入れ、地方自治体のノウハウ、技術の習得を図るとともに、受入自治体の国際化施策等への協力を通じて地域の国際化を推進することを目的としています。

■「青少年の翼」事業【教育費】(新規) 321万円
(担当:教育委員会 社会教育課)

市内の中学生20人を対象に、5泊6日の日程で海外研修を行います。平成17年度は、中国を予定しています。

現地の中学生やホストファミリーとの交流や、体験活動などの研修を通じて幅広い視野を養ってもらい、国際的な視点で活躍できる人材を育成します。

- 主な経費

訪問団の旅費を補助します	226万円
--------------	-------

 ※参加者には、旅費の半額を負担していただきます。

■外国語指導助手の招致【教育費】(継続) 3,294万円
(担当:教育委員会 教育総務課)

アメリカ・イギリス・ニュージーランドから、現在7人(2学期からは6人)の外国語指導助手を招致し、市内の9中学校で英語授業補助として、生きた英語の指導を行っています。

また、市内の31小学校を巡回し、英語によるコミュニケーションを通じて国際理解を深める学習の場を持っています。

- 主な経費

報酬、社会保険料などの人件費	2,699万円
(平成16年度予算:2,917万円)	
研修や帰国のための旅費	289万円
(平成16年度予算も同額)	
外国語指導助手用アパートの準備費用、備品の購入費や修繕費など	154万円
(平成16年度予算:102万円)	
自治体国際化協会負担金(会費、傷害保険、渡航費用として)	152万円
(平成16年度予算:184万円)	



小学校での総合学習の授業風景

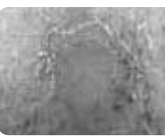
遺跡の調査に取り組みます

■赤坂今井墳丘墓発掘調査【教育費】(新規) 2,200万円
(担当:教育委員会 文化財保護課)

峰山町にある弥生時代の国内で最大級規模(東西36m×南北39m)を誇る赤坂今井墳丘墓の発掘調査を行います。

墓の主が眠るとされる「第1埋葬部」を発掘して、遺跡の内容を調査し、当時の丹後を支配した王の姿を明らかにしようとするものです。

これまでの調査で、この遺跡からは漢青(ハンブルー)という、古代の中国で使用された顔料を含んだガラス製勾玉(まがたま)などでつくられた豪華な「頭飾り」が出土しています。調査は、専門機関に依頼する予定です。



市史の編さんに着手します

■市史編さん事業【教育費】(新規) 118万円
(担当:教育委員会 文化財保護課)

京丹後市史の編さんに必要な基礎資料を得るために、市内の各種文化財を調査します。また、編さん作業については、大学の先生などと協力して行う予定です。

- 主な経費

歴史資料の収集や整理をする作業員さんなどへの謝礼金	75万円
市史編さん委員会などの委員さんへの謝礼金	22万円

編さん…さまざまな材料を集めて整理し、書物をつくりあげること

9 生活基盤の整備

安全、快適なまちづくりを推進します

■道路の改良など【土木費】(継続) 5億8,963万円
(担当:建設部 土木課)

- 道路の新設改良(22路線) 2億7,475万円

峰山町	上地下古川線、橋詰井子ノ上線、大門2号線、堂畷深田線
大宮町	周枳三坂線、小杉線、中ノ井根線
網野町	北大路地区排水路、丹谷線、夕日港線、大正通線、郷新田岡線、北大路丹治山線、桃山奥山線、栗脇ヤナグラ線、岡線、越水線、網野地区町並み環境整備
弥栄町	河ノ辺線、布袋野河上三神社線、溝谷黒部線
丹後町	小泊東海岸線

交通の円滑化と災害・事故などを未然に防ぐため、計画的に改良事業を実施します。

平成16年度に実施した市道森本下4号線道路改良事業(大宮町)



○辺地対策道路の整備(1路線) 【森本延利線(大宮町)】 2,080万円

辺地地域の地域間格差を是正するため、道路の改良事業を実施します。今年度を実施する場所は、安全な通学路と円滑な通行を確保するものです。



市道森本延利線

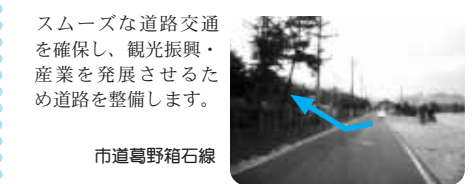
○過疎対策道路の整備(9路線) 1億3,804万円
【細田峠谷線(丹後町)、高嶋線(丹後町)、蒲井旭線(久美浜町)、神崎南浜線(久美浜町)、湊宮線(久美浜町)、油池区内線(久美浜町)ほか]



過疎地域の地域間格差を是正するため、道路の改良事業を実施します。

市道蒲井旭線

○地方道路整備臨時交付金事業(1路線) 【葛野箱石線(久美浜町)】 9,202万円



スムーズな道路交通を確保し、観光振興・産業を発展させるため道路を整備します。

市道葛野箱石線

○交通安全施設など整備事業(1路線) 【呉服二箇前川原線(峰山町)】 6,402万円



交通環境の改善を行い、児童や生徒の交通事故の防止や交通の円滑化を図ります。

市道呉服二箇前川原線

- 国からの補助金 8,415万円
- 市の負担額 5億 548万円
- (うち市債(市の借金)4億8,620万円)
- ※過疎債 1億7,940万円 辺地債 2,080万円